



## 2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月14日

上場会社名 株式会社 柿安本店

上場取引所 東

コード番号 2294 URL <https://www.kakiyasuhonten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 赤塚 義弘

TEL 0594-23-5500

四半期報告書提出予定日 2022年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	27,067		1,562		1,997		1,126	
2021年2月期第3四半期								

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 1,107百万円 ( %) 2021年2月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	107.64	
2021年2月期第3四半期		

(注) 当社は、2021年2月期第3四半期は非連結での業績を開示しておりますが、2022年2月期第2四半期より連結業績を開示しております。そのため、2021年2月期第3四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	19,781	15,216	76.9
2021年2月期			

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 15,216百万円 2021年2月期 百万円

(注) 当社は、2021年3月期は非連結での業績を開示しておりますが、2022年2月期第2四半期より連結業績を開示しております。そのため、2021年2月期の実績は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		75.00	75.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

1. 配当予想の修正に関しましては、本日(2022年1月14日)公表の「通期業績予想の修正、配当予想の修正(増配)並びに株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 2022年2月期 期末配当金の内訳 普通配当 80円00銭 記念配当 20円00銭(創業150周年記念配当)

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,200		2,700		3,150		1,680		160.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2022年2月期の連結業績予想の修正に関しましては、本日(2022年1月14日)公表の「通期業績予想の修正、配当予想の修正(増配)並びに株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご覧ください。また、当社は2021年6月1日付で完全子会社として株式会社KHフードサービスを新設分割いたしました。当新設により2022年2月期(通期)は連結決算による開示となりますが、通期業績予想の対前期増減率は、比較対象が異なるため、記載しておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	12,446,700 株	2021年2月期	12,446,700 株
期末自己株式数	2022年2月期3Q	1,978,841 株	2021年2月期	1,978,841 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	10,467,859 株	2021年2月期3Q	10,467,869 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関して、緊急事態宣言やワクチン接種等の政策により、10月以降の感染者数は大きく減少し、経済活動はコロナ禍以前の状態に戻りつつあります。しかしながら世界レベルで見ればまだ脅威は続いており、加えて原油を中心とした物価上昇も収まりを見せず、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループの属する食関連業界におきましては、緊急事態宣言期間と比較すれば、集客も回復傾向にあります。しかしながら、コロナ禍における新しい生活様式の普及による外食自粛ムードは定着しており、コロナ禍以前の経済状態に戻ることは当面難しく、不透明な状況は今後も続くものと想定されます。

このような環境の中ではありますが、当社グループは、2021年11月8日に創業150周年を迎えることができました。創業150周年を迎えるにあたり、お客様への感謝を込めて、それぞれの業態において周年記念の商品やサービス展開を図りました。また、引き続き不採算店を中心とした店舗整理やコスト削減等の利益対策を徹底いたしました。

出退店につきましては、3店の出店、25店の退店を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,067百万円、営業利益は1,562百万円、経常利益は1,997百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,126百万円となり、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期連結累計期間では過去最高、営業利益は過去2番目の水準となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 精肉事業

精肉事業につきましては、人気の「小間きれ」や「すき焼切り落とし」のブラッシュアップを行った他、11月29日には毎年恒例となっております、年に1度のいい肉の日にお値打ち商品を提供する等、魅力ある商品の提供に努めました。

この結果、当事業の売上高は11,127百万円、セグメント利益996百万円となりました。

#### (b) 惣菜事業

惣菜事業につきましては、人気のローストビーフを用いた『ローストビーフソテー〜3種ハーブのざくざくガーリックオイル〜』や『ねぎまみれローストビーフ』の他、150周年を記念した『創業記念オールスター弁当』を創業月である11月限定で発売する等、味・見栄えの華やかな商品開発に努め、集客を図りました。

出退店につきましては、1店を出店、2店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は8,426百万円、セグメント利益は793百万円となりました。

#### (c) 和菓子事業

和菓子事業につきましては、人気の定番商品である「おはぎ」をハーフサイズにした『姫おはぎ』がご好評をいただきました。また、季節ならではの「いちご大福」「ぶどう大福」「まるごと栗大福」等のフルーツ大福シリーズの拡充による活性化に努めました。一方で、コロナ禍の影響で売上が見込めない中、経費コントロールによる店舗管理の強化を行う等、利益対策を徹底しました。

出退店につきましては、2店を出店、11店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は4,747百万円、セグメント利益は359百万円となりました。

#### (d) レストラン事業

レストラン事業につきましては、ビュッフェを中心とした不採算店の退店による事業のスリム化を行った一方で、メニューを積極的に改定する等、既存店舗の強化を実施しました。

出退店につきましては、11店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は1,389百万円、セグメント損失は181百万円となりました。

(e) 食品事業

食品事業につきましては、人気のレトルト丼である『すき焼丼』『牛肉しぐれ煮丼』のリニューアルを実施しました。また柿安伝統の味『牛肉しぐれ煮』等を用いた柿安監修商品のコンビニへの提供や、惣菜商品を冷凍食品メーカーへ提供することで、売上の向上に努めました。

出退店につきましては、1店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は1,376百万円、セグメント利益は276百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は13,008百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金8,764百万円及び受取手形及び売掛金3,170百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は6,772百万円となりました。主な内訳は、建物及び構築物2,323百万円及び土地2,224百万円、差入保証金662百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,105百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金1,571百万円及び未払費用870百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は459百万円となりました。主な内訳は、資産除去債務390百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、15,216百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金16,381百万円及び資本金1,269百万円、自己株式△3,542百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年7月13日に公表した2022年2月期の連結業績予想を修正しております。なお詳細につきましては、本日(2022年1月14日)公表の「通期業績予想の修正、配当予想の修正(増配)並びに株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	8,764
受取手形及び売掛金	3,170
商品及び製品	356
仕掛品	291
原材料及び貯蔵品	184
その他	242
流動資産合計	13,008
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	2,323
土地	2,224
その他(純額)	529
有形固定資産合計	5,077
無形固定資産	234
投資その他の資産	
投資有価証券	100
繰延税金資産	312
差入保証金	662
退職給付に係る資産	205
その他	180
投資その他の資産合計	1,460
固定資産合計	6,772
資産合計	19,781
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,571
未払金	366
未払法人税等	500
未払費用	870
賞与引当金	474
役員賞与引当金	22
その他	299
流動負債合計	4,105
固定負債	
資産除去債務	390
その他	69
固定負債合計	459
負債合計	4,565
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	1,269
資本剰余金	1,074
利益剰余金	16,381
自己株式	△3,542
株主資本合計	15,182
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△36
退職給付に係る調整累計額	70
その他の包括利益累計額合計	34
純資産合計	15,216
負債純資産合計	19,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	27,067
売上原価	13,035
売上総利益	14,032
販売費及び一般管理費	12,469
営業利益	1,562
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	1
受取給付金	409
その他	26
営業外収益合計	437
営業外費用	
その他	2
営業外費用合計	2
経常利益	1,997
特別利益	
投資有価証券売却益	1
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産除売却損	34
減損損失	49
店舗閉鎖損失	55
その他	28
特別損失合計	168
税金等調整前四半期純利益	1,830
法人税、住民税及び事業税	605
法人税等調整額	98
法人税等合計	703
四半期純利益	1,126
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,126

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	1,126
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	3
退職給付に係る調整額	△23
その他の包括利益合計	△19
四半期包括利益	1,107
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,107



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子 事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	11,127	8,426	4,747	1,389	1,376	27,067	—	27,067	—	27,067
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,249	15	22	0	762	2,051	—	2,051	△2,051	—
計	12,376	8,441	4,770	1,390	2,139	29,119	—	29,119	△2,051	27,067
セグメント利益 又は損失(△)	996	793	359	△181	276	2,245	—	2,245	△682	1,562

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、全社催事等でありま  
す。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△682百万円には、各報告セグメントに配分していない全社  
費用△712百万円及びその他調整額29百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメン  
トに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「惣菜事業」、「和菓子事業」、「レストラン事業」において、店舗設備に伴う減損損失をそれぞれ27百  
万円、11百万円、11百万円計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、49百万円であります。